

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 004	提案機関名 農業振興課
要望問題名 茶の生育予測システムの開発	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 近年、地球温暖化などの影響により気象変動が拡大する傾向にあり、茶の摘採時期についても年次間差が大きく、摘採が遅れるなど品質低下を引き起こす原因となっている。 そこで、県内の主要な茶産地における摘採期を予測できる茶の生育予測システムを開発していただきたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> 1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> 農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術センター <input type="checkbox"/> 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	北相地区事務所研究課
担当者名：白木与志也 電話番号：042-685-0203		FAX番号：042-685-2224	
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可		
試験研究課題名 茶の生産量増加と高品質化 一番茶の萌芽期及び摘採期予測技術の開発			
対応の内容等 県内主要産地における一番茶の萌芽期及び摘採期を予測する技術を開発し、生産管理作業の効率化や高品質茶生産を図るため、以下の課題を実施します。 一番茶萌芽期予測技術の開発 一番茶摘採期予測技術の開発			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> 1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内		
備考			